

安全運転教育記録

営業所名	所長	運行管理者
本牧営業所		

実施日	2026 年 3 月 24 日 ~ 25 日
実施場所	本牧営業所 事務所
教育指導の内容 ○ 国土交通省告示第1366号にもとづく安全運転教育 12、運転支援装置を備えるトラックの適切な運転方法 事業用トラックドライバー研修テキスト⑤P53-P60 1、運転支援装置と先進安全自動車の、種類と性能を理解する 2、運転支援装置は万能ではないことを認識する 3、運転支援装置が原因の事故も発生している ○ 花粉症対策 ・マスクやゴーグルの着用 ・薬の服用時は用法を守り眠気に注意する ○ 指示徹底事項(年間) 1、飲酒運転・酒気帯び運転の根絶 2、4時間以上の連続運転禁止・休憩時間の確保 3、デジタコの正確な操作の徹底	
実施対象者 別紙: 受講者一覧	

3月度 実施日 24 日 ~ 25 日

	氏名	サイン(自署)	* 実施日	時間 開始 ~ 終了	実施者	点数
1	福島 雄三	福島雄三	24 日	10 : 10 ~ 10 : 20		90
2	佐々木 啓二	佐々木啓二	25 日	10 : 10 ~ 10 : 29		100
3	市川 誠	市川 誠	24 日	8 : 15 ~ 8 : 25		90
4	武藤 健司	武藤健司	24 日	6 : 30 ~ 6 : 35		100
5			日	: ~ :		
6			日	: ~ :		
7			日	: ~ :		
8			日	: ~ :		
9			日	: ~ :		
10			日	: ~ :		
11			日	: ~ :		
12			日	: ~ :		
13			日	: ~ :		
14			日	: ~ :		
15			日	: ~ :		
16			日	: ~ :		
17			日	: ~ :		
18			日	: ~ :		
19			日	: ~ :		
20			日	: ~ :		

氏 名 福島 相二

安全運転教育 理解度テスト (12)

90

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。(10点×5問)

設問	問 題	解 答
1	1366 (12) 運転支援装置とは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援する装置である	○
2	1366 (12) 運転支援装置には、衝突被害軽減ブレーキ、車間距離制御装置、車線維持支援制御装置、ふらつき注意喚起装置などがある	○
3	1366 (12) 車間距離制御装置を装着した車両では、追突事故は絶対に発生しない	×
4	1366 (12) ふらつき注意喚起装置とは、居眠りや脇見などによる車両のふらつきを感知して注意喚起するものなので、助手席の荷物を取ったり、足元に落ちた物を拾うくらいであれば脇見運転になっても問題ない	×
5	1366 (12) 支援装置は人の動作を支援するものであって、装備への過信や誤認識はかえって事故の要因になりかねない	×
6	1366 (12) 最新の自動ブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）は、前走車の急ブレーキなどにも対応可能となっている	×
7	1366 (12) 運転支援装置により運転操作が軽減されたり、車間距離が維持されるなどの安心感から、前方不注意となって事故の要因となるケースがある	○
8	1366 (12) 花粉症の症状緩和には、生活習慣の見直しや食生活の改善も効果があるとされている	○
9	1366 (12) 花粉症の治療は対症療法といい、症状を緩和する治療であり、花粉症そのものを治療するものではない	○
10	1366 (12) 花粉症の症状が出たら、ドラッグストアで市販薬を購入し継続的に服用する	×

感 想 文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

防衛運転を行い事故をしない

営業所名 本牧営業所

氏名 佐々木 啓二

安全運転教育 理解度テスト (12)

100

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。(10点×5問)

設問	問 題	解 答
1	1366 (12) 運転支援装置とは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援する装置である	○
2	1366 (12) 運転支援装置には、衝突被害軽減ブレーキ、車間距離制御装置、車線維持支援制御装置、ふらつき注意喚起装置などがある	○
3	1366 (12) 車間距離制御装置を装着した車両では、追突事故は絶対に発生しない	×
4	1366 (12) ふらつき注意喚起装置とは、居眠りや脇見などによる車両のふらつきを感知して注意喚起するものなので、助手席の荷物を取ったり、足元に落ちた物を拾うくらいであれば脇見運転になっても問題ない	×
5	1366 (12) 支援装置は人の動作を支援するものであって、装備への過信や誤認識はかえって事故の要因になりかねない	○
6	1366 (12) 最新の自動ブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）は、前走車の急ブレーキなどにも対応可能となっている	×
7	1366 (12) 運転支援装置により運転操作が軽減されたり、車間距離が維持されるなどの安心感から、前方不注意となって事故の要因となるケースがある	○
8	1366 (12) 花粉症の症状緩和には、生活習慣の見直しや食生活の改善も効果があるとされている	○
9	1366 (12) 花粉症の治療は対症療法といい、症状を緩和する治療であり、花粉症そのものを治療するものではない	○
10	1366 (12) 花粉症の症状が出たら、ドラッグストアで市販薬を購入し継続的に服用する	×

感想文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

安全装置にたよらない

営業所名

本牧営業所

氏 名 市川 誠

安全運転教育 理解度テスト (12)

90

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。 (10点×5問)

設問	問 題	解 答
1	1366 (12) 運転支援装置とは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援する装置である	○
2	1366 (12) 運転支援装置には、衝突被害軽減ブレーキ、車間距離制御装置、車線維持支援制御装置、ふらつき注意喚起装置などがある	○
3	1366 (12) 車間距離制御装置を装着した車両では、追突事故は絶対に発生しない	×
4	1366 (12) ふらつき注意喚起装置とは、居眠りや脇見などによる車両のふらつきを感知して注意喚起するものなので、助手席の荷物を取ったり、足元に落ちた物を拾うくらいであれば脇見運転になっても問題ない	×
5	1366 (12) 支援装置は人の動作を支援するものであって、装備への過信や誤認識はかえって事故の要因になりかねない	○
6	1366 (12) 最新の自動ブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）は、前走車の急ブレーキなどにも対応可能となっている	×
7	1366 (12) 運転支援装置により運転操作が軽減されたり、車間距離が維持されるなどの安心感から、前方不注意となって事故の要因となるケースがある	○
8	1366 (12) 花粉症の症状緩和には、生活習慣の見直しや食生活の改善も効果があるとされている	○
9	1366 (12) 花粉症の治療は対症療法といい、症状を緩和する治療であり、花粉症そのものを治療するものではない	○
10	1366 (12) 花粉症の症状が出たら、ドラッグストアで市販薬を購入し継続的に服用する	○

感 想 文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

安全運転に努める。

氏 名 武藤 健司

安全運転教育 理解度テスト (12)

100

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。 (10点×5問)

設問	問 題	解 答
1	1366 (12) 運転支援装置とは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援する装置である	○
2	1366 (12) 運転支援装置には、衝突被害軽減ブレーキ、車間距離制御装置、車線維持支援制御装置、ふらつき注意喚起装置などがある	○
3	1366 (12) 車間距離制御装置を装着した車両では、追突事故は絶対に発生しない	×
4	1366 (12) ふらつき注意喚起装置とは、居眠りや脇見などによる車両のふらつきを感知して注意喚起するものなので、助手席の荷物を取ったり、足元に落ちた物を拾うくらいであれば脇見運転になっても問題ない	×
5	1366 (12) 支援装置は人の動作を支援するものであって、装備への過信や誤認識はかえって事故の要因になりかねない	○
6	1366 (12) 最新の自動ブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）は、前走車の急ブレーキなどにも対応可能となっている	×
7	1366 (12) 運転支援装置により運転操作が軽減されたり、車間距離が維持されるなどの安心感から、前方不注意となって事故の要因となるケースがある	○
8	1366 (12) 花粉症の症状緩和には、生活習慣の見直しや食生活の改善も効果があるとされている	○
9	1366 (12) 花粉症の治療は対症療法といい、症状を緩和する治療であり、花粉症そのものを治療するものではない	○
10	1366 (12) 花粉症の症状が出たら、ドラッグストアで市販薬を購入し継続的に服用する	×

感 想 文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

安全運転に気をつけよう

営業所名

本牧営業所

氏 名

安全運転教育 理解度テスト（12）

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。

（10点×5問）

設問	問 題		解 答
1	1366 (12)	運転支援装置とは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援する装置である	○
2	1366 (12)	運転支援装置には、衝突被害軽減ブレーキ、車間距離制御装置、車線維持支援制御装置、ふらつき注意喚起装置などがある	○
3	1366 (12)	車間距離制御装置を装着した車両では、追突事故は絶対に発生しない	×
4	1366 (12)	ふらつき注意喚起装置とは、居眠りや脇見などによる車両のふらつきを感知して注意喚起するものなので、助手席の荷物を取ったり、足元に落ちた物を拾うくらいであれば脇見運転になっても問題ない	×
5	1366 (12)	支援装置は人の動作を支援するものであって、装備への過信や誤認識はかえって事故の要因になりかねない	○
6	1366 (12)	最新の自動ブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）は、前走車の急ブレーキなどにも対応可能となっている	×
7	1366 (12)	運転支援装置により運転操作が軽減されたり、車間距離が維持されるなどの安心感から、前方不注意となって事故の要因となるケースがある	○
8	1366 (12)	花粉症の症状緩和には、生活習慣の見直しや食生活の改善も効果があるとされている	○
9	1366 (12)	花粉症の治療は対症療法といい、症状を緩和する治療であり、花粉症そのものを治療するものではない	○
10	1366 (12)	花粉症の症状が出たら、ドラッグストアで市販薬を購入し継続的に服用する	×

感 想 文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。